

## ヒューマン・リソース・マネジメント

# 事業のグローバル化に対応する 多様な人財が活躍できる職場づくり

### グローバル人財の活用と育成

#### ■ グローバル・プラットフォームの構築

グローバル競争の激化やお客様ニーズの高度化・多様化といった環境変化に対応し、持続的な企業成長を遂げていくためには、お客様視点に立ち、グローバルな視野から全体最適を追求できる人財が不可欠です。コニカミノルタでは、人財総合力のレベルアップを図るため、「人財育成と活用のためのプラットフォーム(仕組み・ツール・考え方)」を構築し、グローバル、リージョン、各社それぞれの役割を明確にし、「One Konica Minolta」として人財育成・活用を図っています。

2014年度は、北米・欧州・中国・アジアの各リージョンにおいて人財マネジメント体制を構築。グローバル統一の評価基準でグループ幹部人財を評価し、強み・課題を明確化しながら適所適財の人財活用や、後継者育成を進めています。

#### ■ ビジネスリーダー育成プログラムを地域別に展開

世界各地の関係会社の幹部層を対象とした「グローバル・エグゼクティブ・プログラム(GEP)」を2010年度から開催しています。これは、グループのビジネスリーダーとしての意識を高め、参加者同士がグローバルな人的ネットワークを構築することを目的としています。約1週間の研修で、経営トップとの対話や参加者同士の討論などによって、グローバルマインドの醸成とリーダーシップ開発を図っています。2014年度末までに9回開催して、60社から148名が参加しました。

また、2013年度からは経営幹部候補の育成を目的に、対象をマネージャー層に拡大した「リージョナルGEP」も開催。第1回は中国で開催し、第2回は2015年5月にシンガポールで開催しました。



グローバル・エグゼクティブ・プログラム

### 労働安全衛生

#### ■ 国内外での労働災害の防止

「従業員の安全第一」の考えのもと、経営トップが安全に対して積極的に関与し、個人の安全意識の向上や設備の安全化などに注力しています。目標として重篤災害発生0件、休業災害度数率0.1以下を掲げ、就業時災害の発生防止に向けたさまざまな施策をグローバルに展開しています。

2014年度は、生産活動の大半を占める海外拠点において、安全管理の強化策を実施しました。例えば中国では、従来の拠点ごとの安全衛生活動に加え、新たに生産や販売を含む全拠点を対象とした「中国安全衛生責任者会議」を立ち上げ、従業員の健康管理を含めた安全衛生強化を推進。これらの結果、2014年度の重篤災害発生は0件、休業災害度数率は、国内では0.28、海外では0.19となりました。コニカミノルタの労働災害件数は、長年にわたる労働衛生活動によって国内外ともに低い水準を維持しています。

なお、2014年5月に設立したマレーシア工場では、2015年1月にOHSAS18001認証を取得しました。

### Focused Topic

#### 2014年度「健康経営銘柄」に選定

コニカミノルタの“健康経営”に向けた理念や体制、取り組みが評価され、2015年3月、経済産業省および東京証券取引所から「健康経営銘柄」に選出されました。これは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践している企業を、投資家に魅力ある企業として紹介するものです。業種区分ごとに1社、計22社が選定され、「電気機器」からはコニカミノルタが選ばれました。

